

2014年3月期 第2四半期決算説明会



2013年10月31日
株式会社プロトコーポレーション（4298）

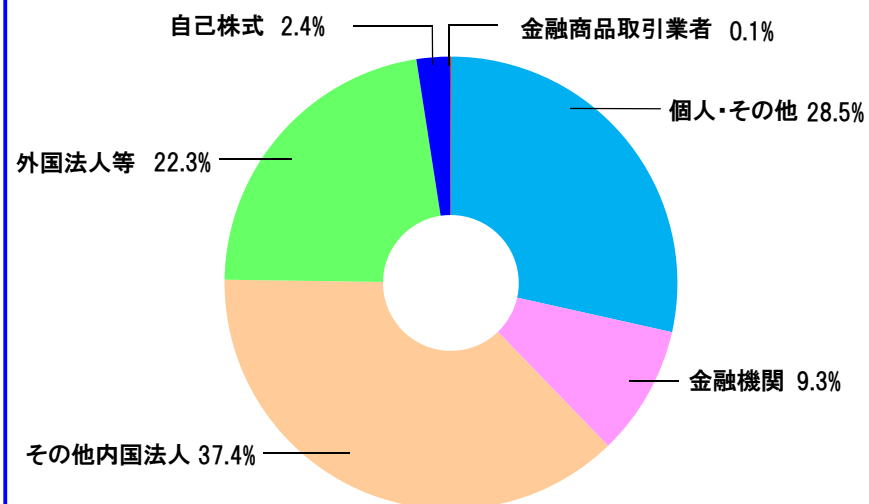
連結主要データ

発行済株式総数(百万株)		20.9
時価総額(億円)	※2013年9月末	299.2
1株当たり年間配当(円)	※2014年3月期予想	37.5
1株当たり当期純利益(円)	※2014年3月期予想	126.65
1株当たり純資産(円)	※2013年3月期実績	1,154.20
ROE(%)当期純利益ベース	※2013年3月期実績	9.9
ROA(%)経常利益ベース	※2013年3月期実績	13.8
自己資本比率(%)	※2013年3月期実績	68.2
潜在株式数		-

大株主(上位5名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	6,807 (32.50%)
2) JPMCC Client Safekeeping Account	1,088 (5.19%)
3) 横山博一	840 (4.01%)
4) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	619 (2.95%)
5) The Chase Manhattan Bank, N.A. London Secs Lending Omnibus Account	556 (2.65%)

株式分布状況



(2013年9月30日現在)

連結損益計算書 (1)



(単位:百万円)

	2012年4-9月期		2013年4-9月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	19,199	100.0%	26,589	100.0%	① 27,724	100.0%	8,524	144.4%	1,134	104.3%
売上原価	10,100	52.6%	16,206	61.0%	② 17,176	62.0%	7,075	170.0%	969	106.0%
売上総利益	9,098	47.4%	10,382	39.0%	10,547	38.0%	1,449	115.9%	164	101.6%
販売費及び一般管理費	6,130	31.9%	8,361	31.4%	③ 8,090	29.2%	1,960	132.0%	△ 270	96.8%
EBITDA	3,430	17.9%	2,896	10.9%	3,286	11.9%	△ 144	95.8%	390	113.5%
営業利益	2,967	15.5%	2,021	7.6%	2,456	8.9%	△ 511	82.8%	435	121.5%
経常利益	3,053	15.9%	2,112	7.9%	2,612	9.4%	△ 441	85.5%	499	123.7%
四半期純利益	1,740	9.1%	1,107	4.2%	1,312	4.7%	△ 427	75.4%	205	118.5%

	2012年4-9月期		2013年4-9月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	6,130	31.9%	8,361	31.4%	8,090	29.2%	1,960	132.0%	△ 270	96.8%
人件費	2,937	15.3%	3,731	14.0%	3,538	12.8%	600	120.5%	△ 193	94.8%
広告宣伝費関連	1,188	6.2%	1,462	5.5%	1,390	5.0%	201	117.0%	△ 71	95.1%
その他経費	2,004	10.4%	3,168	11.9%	3,162	11.4%	1,157	157.7%	△ 5	99.8%
社員数	1,057	-	1,369	-	1,304	-	247	123.4%	△ 65	95.3%

* EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

Point ① 売上高 主に自動車関連情報において、輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイの子会社化(2013年4月)及び㈱キングスオートの中古車輸出台数が増加したことなどから、前年同期対比はグループ全体で8,524百万円の増収(前年同期対比144.4%)となりました。また、計画対比では、主に㈱オートウェイのタイヤ販売数量が計画を下回ったものの、㈱キングスオートの中古車輸出台数が計画を上回ったことなどから、グループ全体で104.3%となりました。

Point ② 売上原価 主に㈱オートウェイの子会社化及び㈱キングスオートの中古車輸出台数が増加したことに伴い、それぞれ商品仕入高等が増加し、前年同期対比は170.0%(原価率:9.4ポイント上昇)となりました。また、計画対比においても主に㈱キングスオートの中古車輸出台数が計画を上回ったことから、グループ全体で106.0%となりました。

Point ③ 販売費及び一般管理費 主に連結子会社の増加に伴い、人件費及びその他経費が増加したことから、前年同期対比は132.0%(販売管理費率:2.7ポイント低下)となりました。また、計画対比では、主に㈱プロトコーポレーションにおける人件費が計画を下回ったことから、グループ全体で96.8%となりました。

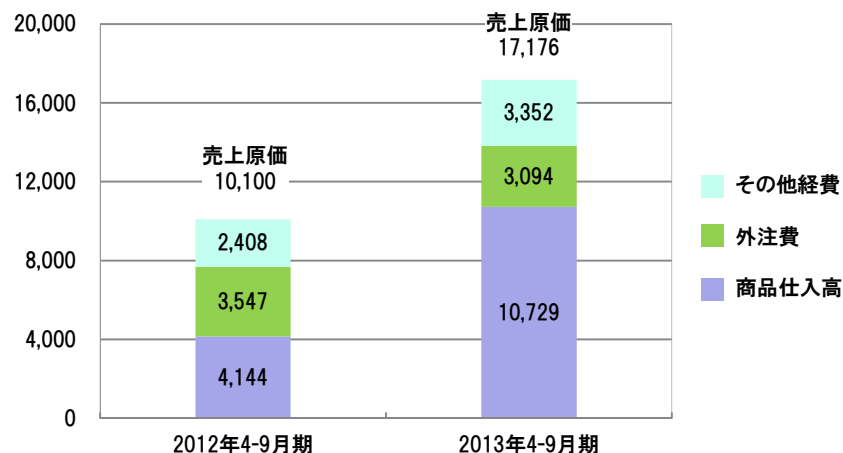
連結損益計算書 (2)



2013年4-9月期 業績概況

売上原価の推移

(単位:百万円)



売上原価

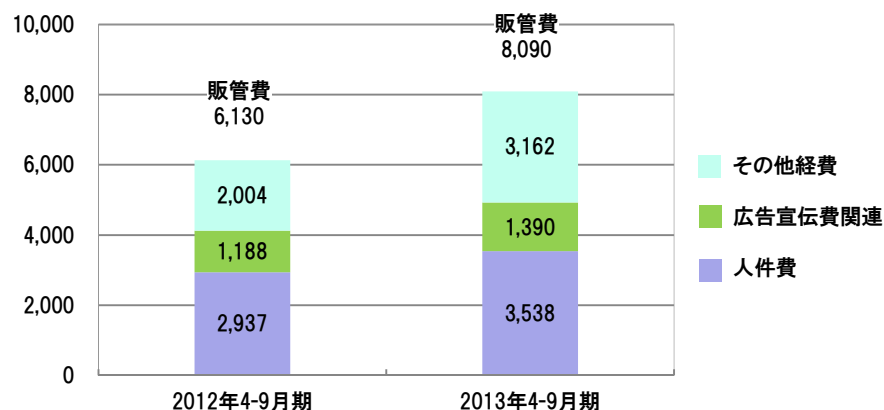
商品仕入高については、主に㈱オートウェイ(4,271百万円増)及び㈱キングスオート(1,856百万円増)における商品仕入高が増加した結果、グループ全体で6,585百万円の増加(前年同期対比258.9%)となりました。

外注費については、主に㈱プロトコーポレーションにおけるインターネット広告代理事業の売上高が減少したことに伴い、グループ全体で452百万円の減少(前年同期対比87.2%)となりました。

その他経費については、主に㈱オートウェイならびに㈱キングスオートの運賃が増加したことをはじめ、㈱プロトメディカルケアによる㈱フジヤマサービスの子会社化(2013年4月)に伴う社員数の増加、Goo鑑定の鑑定台数増加に伴う㈱カークレドの社員数の増加、㈱プロトデータセンターの社員数の増加等により、グループ全体で942百万円の増加(前年同期対比139.1%)となりました。

販売費及び一般管理費の推移

(単位:百万円)



販売費及び一般管理費

人件費については、主に㈱オートウェイの子会社化に伴う社員数の増加及び㈱プロトコーポレーションの社員数の増加に伴い、グループ全体で600百万円の増加(前年同期対比120.5%)となりました。

広告宣伝費関連については、既存事業においては前年を下回る水準で推移したものの、現時点において、主に㈱オートウェイとのグループ間シナジーが十分に発揮できていないことから、㈱オートウェイの広告宣伝関連費用が256百万円発生し、グループ全体で201百万円の増加(前年同期対比117.0%)となりました。

その他経費については、㈱オートウェイの子会社化及び台湾寶路多における事業譲受けに伴い、主にのれん償却額及び減価償却費が増加したほか、支払手数料等が増加したことから、グループ全体で1,157百万円の増加(前年同期対比157.7%)となりました。

セグメント別事業概況（1）



売上高

（単位：百万円）

	2012年4-9月期		2013年4-9月期			
	実績 (A)	構成比	計画 (B)	構成比	実績 (C)	構成比
自動車関連情報	16,795	87.5%	23,860	89.7%	25,404	91.6%
情報登録・掲載料	10,017	52.2%	10,222	38.4%	10,230	36.9%
情報提供料	6,778	35.3%	13,638	51.3%	15,173	54.7%
生活関連情報	2,101	10.9%	2,210	8.3%	1,771	6.4%
不動産	83	0.4%	76	0.3%	84	0.3%
その他	219	1.1%	441	1.7%	464	1.7%
合計	19,199	100.0%	26,589	100.0%	27,724	100.0%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
8,608	151.3%	1,543	106.5%
213	102.1%	8	100.1%
8,395	223.8%	1,535	111.3%
△ 330	84.3%	△ 439	80.1%
1	101.4%	7	109.8%
244	211.7%	23	105.2%
8,524	144.4%	1,134	104.3%

- 1) 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載等
 2) 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供、中古車輸出支援サービス、EC(輸入タイヤ・バイクパーツ販売)等

営業利益

（単位：百万円）

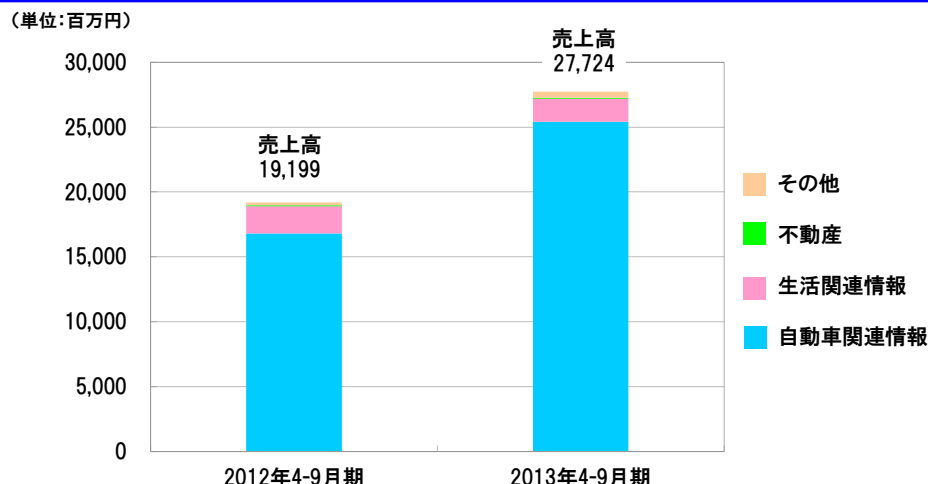
	2012年4-9月期		2013年4-9月期			
	実績 (A)	利益率	計画 (B)	利益率	実績 (C)	利益率
自動車関連情報	3,720	22.1%	2,892	12.1%	3,225	12.7%
生活関連情報	110	5.3%	98	4.5%	119	6.7%
不動産	45	54.9%	39	51.9%	46	54.8%
その他	△ 128	-	△ 83	-	△ 98	-
管理部門	△ 780	-	△ 925	-	△ 836	-
合計	2,967	15.5%	2,021	7.6%	2,456	8.9%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 494	86.7%	333	111.5%
8	107.7%	20	121.3%
0	101.3%	6	115.9%
30	-	△ 14	-
△ 55	-	89	-
△ 511	82.8%	435	121.5%

セグメント別事業概況（2）



セグメント別 売上高の推移



自動車関連情報

情報誌事業については、ほぼ前年並みの水準（前年同期対比101.4%）に留まったものの、IT事業については、主に㈱オートウェイの子会社化により、EC売上（輸入タイヤ販売）が増加したことに加え、㈱プロトコーポレーションならびに㈱プロトリオスにおいて、IT商品の拡販を推進したことにより、6,079百万円の増収（同206.1%）となりました。なお、その他事業については、中古車輸出事業を手掛ける㈱キングスオートとGoo鑑定の拡販が順調に推移したことにより、2,429百万円の増収（同163.2%）となり、自動車関連情報全体の売上高は8,608百万円の増収（同151.3%）となりました。

また、営業利益については、主に㈱プロトコーポレーションにおける人件費の増加をはじめ、海外子会社における先行投資負担の発生により、494百万円の減益（同86.7%）となりました。

生活関連情報

㈱プロトメディカルケアについては、医療・介護・福祉分野における広告事業ならびに介護用品の通販事業が堅調に推移するとともに、㈱フジヤマサービス等の子会社化により、福祉用具のレンタルサービス事業等が増収増益に寄与いたしました。しかしながら、主に㈱プロトコーポレーションにおいて、インターネット広告代理事業が減収となったことから、生活関連情報全体の売上高は330百万円の減収（前年同期対比84.3%）となりました。

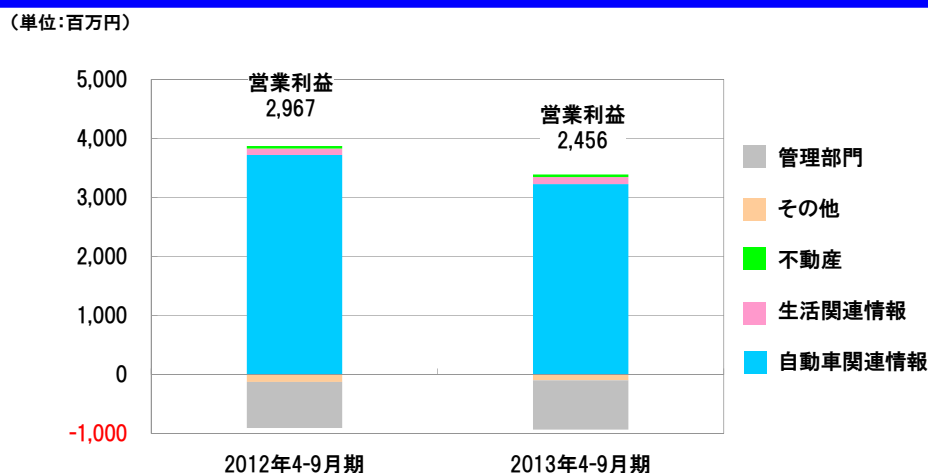
また、営業利益については、㈱プロトメディカルケアが堅調に推移したものの、㈱プロトデータセンターにおいて、不動産情報事業における人件費及び認知度向上を目的とした広告宣伝費等が増加したことから、8百万円の増益（同107.7%）に留まりました。

その他

主に㈱プロトデータセンターにおけるBPO事業の受注が拡大したことから、売上高は244百万円の増収（前年同期対比211.7%）となりました。

また、営業利益については、ソーシャルゲームに係る費用が増加したことなどから、98百万円の損失（前年同期は128百万円の損失）となりました。

セグメント別 営業利益の推移

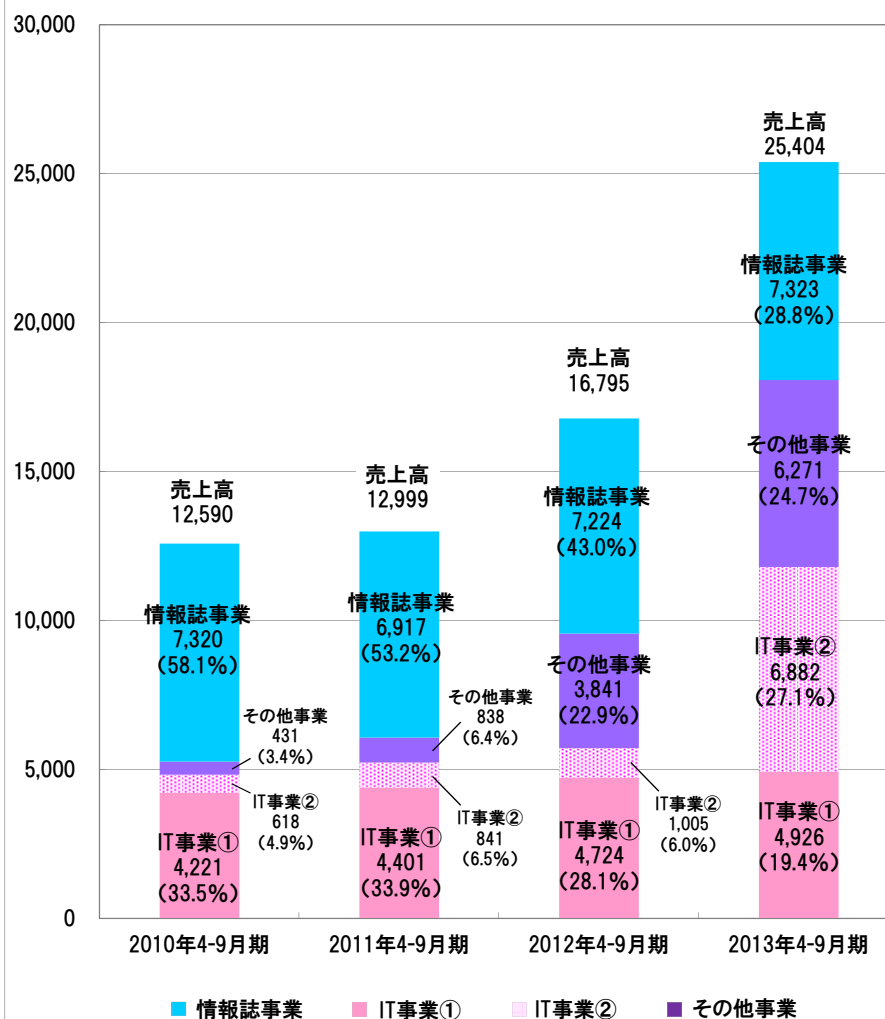


自動車関連情報の事業概況（1）



自動車関連情報：商品区分別売上高の推移

（単位：百万円）※カッコ内は構成比



情報誌事業

上期においては、引き続き、Goo鑑定等の拡販を通じて、Gooシリーズの取引社数及び広告ページ数の拡大を図ってまいりました。なお、Gooシリーズの広告出稿量は、4-9月期において若干計画を下回ったものの、台湾寶路多股份有限公司において、2013年1月に事業を譲り受けた自動車情報メディア事業が寄与したことなどから、情報誌事業全体の売上高は98百万円の増収（前年同期対比101.4%）となりました。

IT事業①（Goo-net等のオプション商品、BtoBデータサービス等）

Gooシリーズに係るインターネット関連商品の拡販を推進するとともに、㈱プロトリオスにおける業務支援システムの拡販などにより、IT事業①の売上高は202百万円の増収（前年同期対比104.3%）となりました。

IT事業②（EC）

輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイの子会社化に加え、㈱バイクブロスにおいてバイク用品・パーツのEC事業の拡大に努めた結果、IT事業②の売上高は5,877百万円の増収（前年同期対比684.6%）となりました。

その他事業（Goo鑑定・中古車輸出支援サービス等）

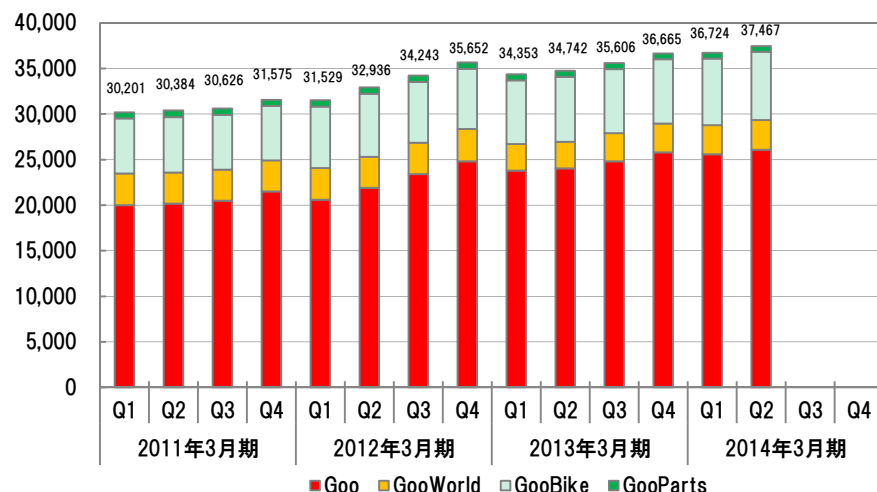
㈱キングスオートの中古車輸出事業が好調に推移したことに加え、Gooシリーズの取引先に対してGoo鑑定の積極的な拡販を推進し、鑑定台数が増加した結果、その他事業の売上高は2,429百万円の増収（前年同期対比163.2%）となりました。

自動車関連情報の事業概況（2）



Gooシリーズ 四半期累計取引社数の推移

（単位：社）

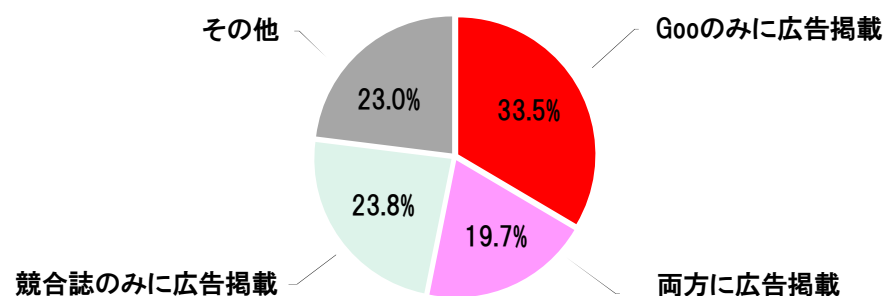


Gooシリーズ全体の第2四半期累計（4-9月累計）取引社数は前年同期対比107.4%と増加いたしました。

また、第2四半期累計期間（4-9月）における1ヶ月あたりの平均取引単価については、小規模販売店の増加等が影響した結果、前年同期対比97.4%となりました。

なお、Goo鑑定加盟店数は2013年9月末時点で6,717 IDとなりました。

マーケットシェアの状況（競合比較）



* 競合誌：カーセンサー（但し、四国はMjマガジン、沖縄はクロスロード）

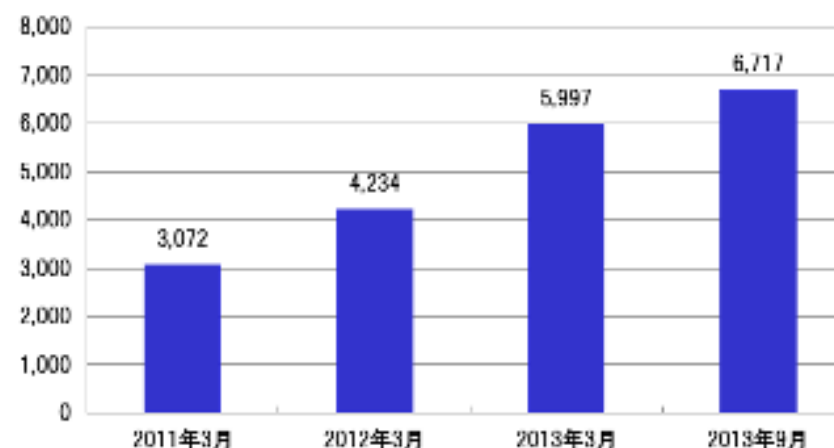
* 数値は全エリアを対象として集計しております。

* 取引社数の集計基準：情報誌に広告を掲載した中古車販売店数

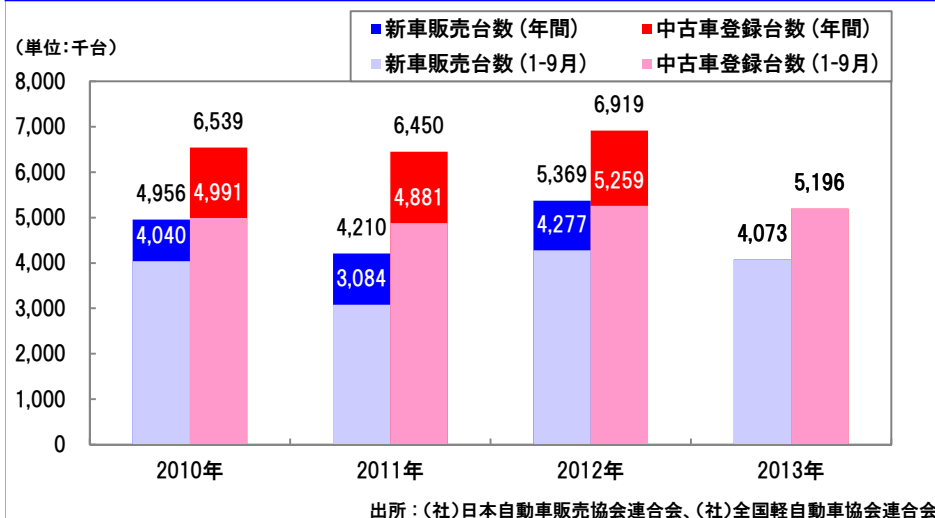
（2013年9月時点・当社調べ）

Goo鑑定加盟店数の推移

（単位：ID）



新車販売台数・中古車登録台数の推移(暦年ベース)



新車販売台数

2012年(1-12月累計)の新車販売台数はエコカー補助金の影響などにより、536万台となりました。(前年同期対比127.5%)

なお、2013年(1-9月累計)の新車販売台数は407万台となりました。(前年同期対比95.2%)

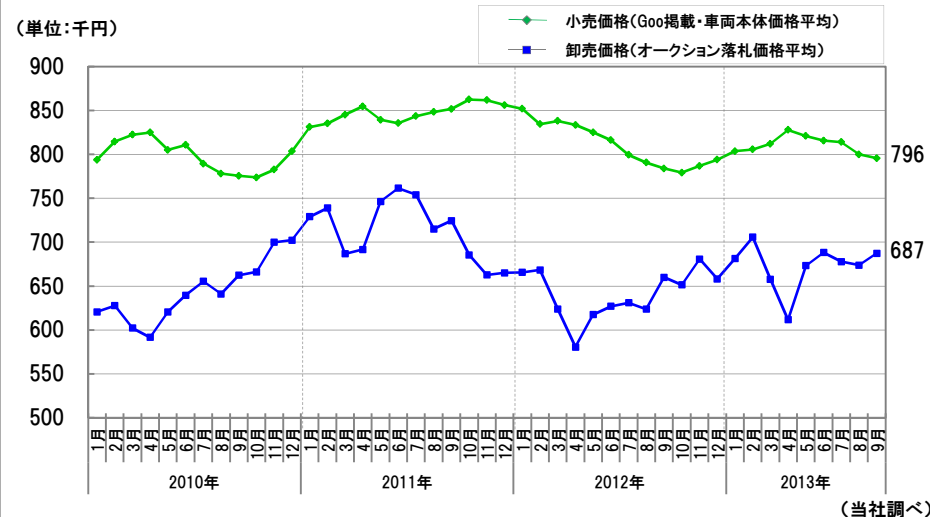
中古車登録台数

2012年(1-12月累計)の中古車登録台数は691万台となりました。

(前年同期対比107.3%)

なお、2013年(1-9月累計)の中古車登録台数は519万台となりました。(前年同期対比98.8%)

中古車小売・卸売平均価格の推移



中古車の小売・卸売平均価格の推移

エコカー補助金の終了後、小売平均価格は80万円前後で推移しております。また、卸売平均価格は2011年6月以降下落傾向が続いておりましたが、2012年4月を底に上昇へ転じ、一旦、2013年4月に下落したものの、5月以降は切り上がって推移しております。

【参考:エコカー補助金】

1.第1期:エコカー補助金

2009年4月10日～2010年9月7日 : 予算枠5,837億円、スクラップインセンティブあり

2.第2期:エコカー補助金

2011年12月20日～2012年9月21日: 予算枠3,000億円、スクラップインセンティブなし

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2013年3月期(期末)		2014年3月期(第2四半期末)		増減 (B)-(A)
	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	20,686	59.4%	23,964	53.3%	① 3,277
固定資産	14,155	40.6%	21,036	46.7%	② 6,881
流動負債	8,578	24.6%	13,913	30.9%	③ 5,334
固定負債	2,514	7.2%	6,439	14.3%	④ 3,924
純資産	23,748	68.2%	24,648	54.8%	899
総資産	34,841	-	45,001	-	10,159

Point ① 流動資産の増加(2013年3月期 期末対比 3,277百万円増)

主に㈱オートウェイの子会社化に伴う株式取得による支払いが発生したことから現金及び預金が減少したものの、同社の棚卸資産等が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して3,277百万円増加しております。

Point ② 固定資産の増加(2013年3月期 期末対比 6,881百万円増)

主に㈱オートウェイの子会社化に伴うのれんを計上したこと、同社の土地・建物が増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して6,881百万円増加しております。

Point ③ 流動負債の増加(2013年3月期 期末対比 5,334百万円増)

主に㈱オートウェイの子会社化に伴い、短期借入金等が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して5,334百万円増加しております。

Point ④ 固定負債の増加(2013年3月期 期末対比 3,924百万円増)

㈱オートウェイの子会社化に伴い、長期借入金等が増加したことから、前連結会計年度末と比較して3,924百万円増加しております。

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2012年4-9月期	2013年4-9月期	増減	(参考) 2013年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,970	① 939	△ 2,031	2,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 91	② △ 4,900	△ 4,808	△ 1,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 678	③ 111	790	1,187
現金及び現金同等物の期末残高	13,697	10,971	△ 2,725	14,640
投資額(有形・無形固定資産*)	1,694	4,750	3,055	2,831
減価償却費(有形・無形固定資産)	189	373	183	404
のれん償却額	273	456	183	546

* 投資額には、有形・無形固定資産取得額、及びのれんを含みます。

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益2,483百万円を計上したものの、主に㈱オートウェイの棚卸資産が増加したことと、法人税等の支払いが発生したことなどにより、939百万円の収入に留まりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に㈱オートウェイなどの子会社化に伴う株式取得による支出が3,215百万円、台湾寶路多股份有限公司における事業の譲受けに伴う支出が610百万円発生したことなどにより、4,900百万円の支出となりました。

Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払による支出が384百万円、自己株式の取得による支出が199百万円発生したものの、主に㈱オートウェイの借入金が増加したことなどにより、111百万円の収入となりました。

2013年4-9月期のトピックスと今後の取り組み

自動車関連情報

Point ①

Gooシリーズの取引社数は引き続き増加傾向(プロトコーポレーション)
※詳細についてはP.13-14参照

Point ②

輸入タイヤ販売事業の開始(オートウェイ)
※詳細についてはP.15参照

Point ③

中古車輸出事業が堅調に推移(キングスオート)
主要仕向国(香港)における需要の回復、昨年末以来の円安に伴い中古車輸出が堅調に推移

Point ④

PROTO MALAYSIAの営業エリア拡大、台湾寶路多においてメディア事業を開始
※詳細についてはP.16-17参照

生活関連情報

Point ⑤

医療・介護・福祉分野における事業が堅調に推移(プロトメディカルケア)
広告事業、介護用品の通販、福祉用具のレンタル事業が堅調に推移

Point ⑥

インターネット広告代理事業において新規顧客開拓に遅れが発生
(プロトコーポレーション)

■ 自動車関連情報事業における今後の取り組み

今後のリスク要因(市場動向)

1. 新車・中古車マーケットへの影響

- 2014年3月末までの期間において、消費増税による若干の駆け込み需要を想定
- 2014年4月以降は、駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みを想定

2. 広告マーケットへの影響

- 新車・中古車マーケットへの影響と同様に、今期における若干の駆け込み需要を想定
- 2014年4月以降は、駆け込み需要の反動により、店頭在庫の減少や掲載台数が落ち込む可能性がある

対 策

1. Goo-netの新規バックグラウンドシステム(MOTOR GATE)の拡販に注力

- 既存顧客へのシステムリプレイスを推進
- 新規バックグラウンドシステム(MOTOR GATE)を通じた新商品・サービスの開発・提供
- 新規顧客への営業開始

2. Goo鑑定の拡販

- 初回鑑定無料キャンペーンの実施
- 認知度向上を目的としたプロモーションの実施

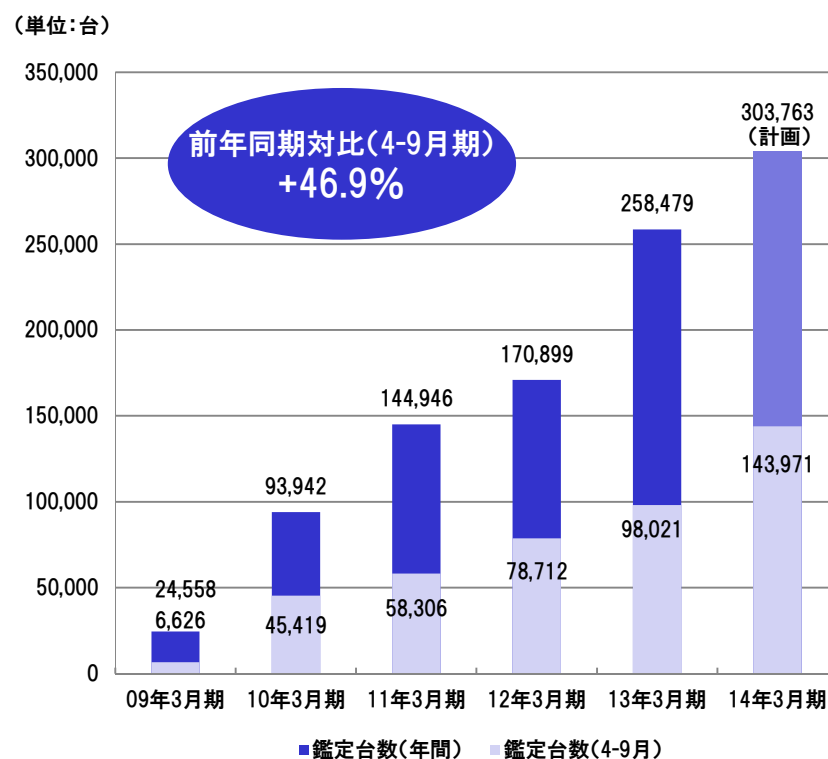
3. 新商品・サービスの開発・販売

- 整備業界向け商品・サービスの拡充・拡販を推進

顧客数の拡大を図り、駆け込み需要後の反動減に対応する

■ Goo鑑定の強化

Goo鑑定 鑑定台数の推移



Goo鑑定による成約率の向上

Gooにおける取引継続率の向上
2012年4-9月期 平均96.1%
↓
2013年4-9月期 平均97.8%
(1.7ポイント向上)

Gooシリーズ取引社数の増加

Goo鑑定の拡販を通じて、Gooシリーズ取引社数の拡大を推進する

■ 輸入タイヤ販売事業の強化(2013年4月 (株)オートウェイの株式取得)

株式会社オートウェイ(自動車用タイヤの輸入・販売)



本社/九州倉庫/福岡県太田町



関東倉庫/茨城県下妻市

<主な取り組み>

- ・関東エリアの新倉庫稼働に伴う出荷体制の強化
- ・仕入・販売管理体制の見直し

4-9月期においては、新倉庫稼働に伴う出荷体制の整備を優先し、売上高は前年を上回ったものの、計画は未達成

■ 今後のリスク要因

- ・円安を背景とした原価高は継続する見通し(仕入については、原則USドル建取引)
- ・在庫過多(仕入・販売・物流管理の連携が不十分)

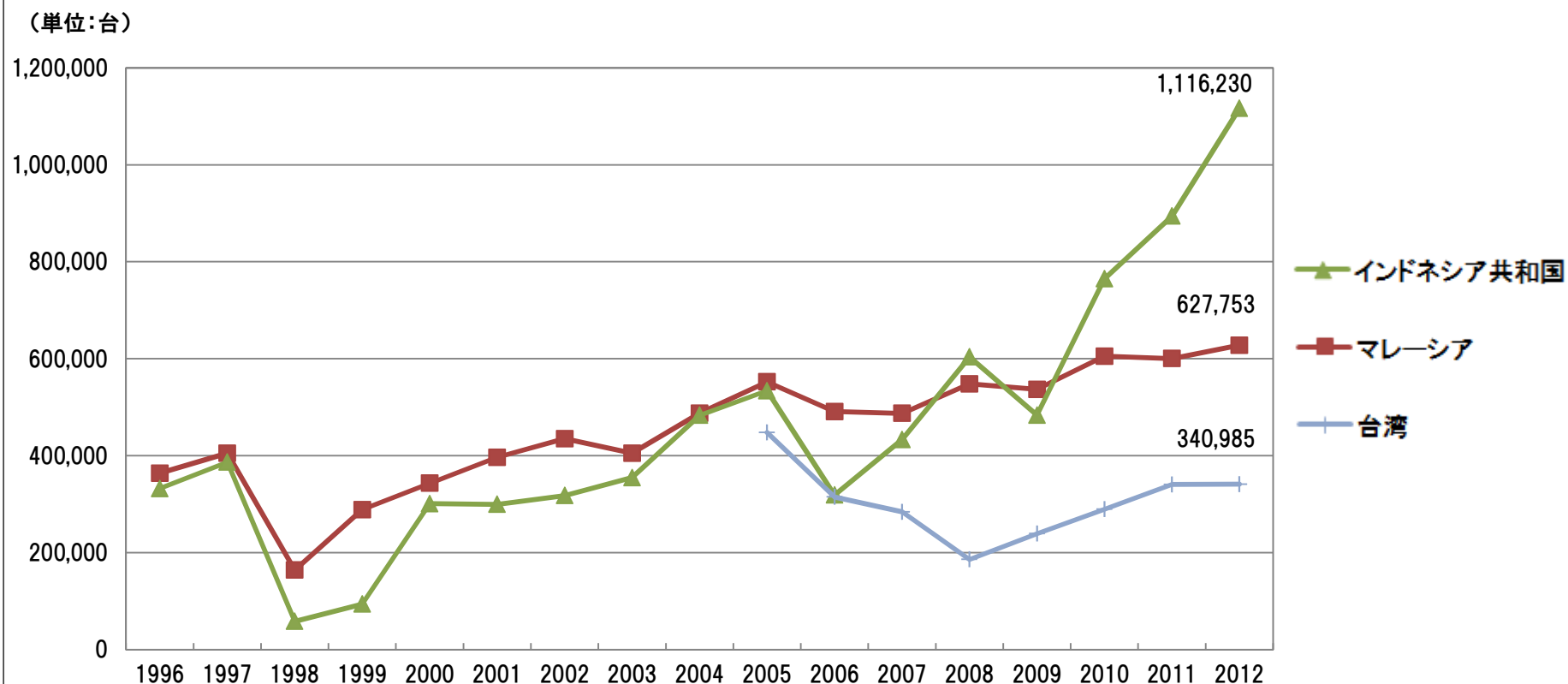
■ 対策

- ・販売戦略の再策定(取引先・提携先の拡大施策を推進)
- ・在庫水準の適正化(仕入管理・販売管理の強化)

オートウェイの取引先・提携先の拡大と、仕入管理・販売管理の強化により、円安環境下においても売上高・営業利益の成長性を確保できる体制を整備する

■ 海外事業のマーケットについて

アジア各国の国内自動車販売台数推移



出所:日本貿易振興機構(ジェトロ)

アジアの自動車販売台数は増加傾向にあり、インドネシア共和国・マレーシア・台湾は堅調に推移

今後の取り組み(5)



■ 海外事業の取り組み

海外事業の概要



■PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. (マレーシア)

- ・中古車情報誌の発行・中古車検索サイトを運営
- 営業エリアの拡大(2013年3月にペナン営業所開設)

■台湾寶路多股份有限公司 (台湾)

- ・新車情報誌・中古車情報誌の発行・自動車総合情報サイトの運営
- 2013年1月に自動車関連メディア事業を譲受

■PT. PROTO INDONESIA (インドネシア共和国)

- ・自動車関連情報事業を中心とした市場調査及び提携先の開拓を推進

■PROTO SINGAPORE Pte. Ltd.(シンガポール共和国)

- ・マレーシアとインドネシアに経営資源を集中させることを目的として解散を決定

日本の自動車マーケットで培った情報誌・IT事業のノウハウを活用し、
東アジア・東南アジアにおける事業展開を推進する

業績見通しサマリー

* 業績見通しは、2013年5月10日公表の数値であります。

2014年3月期 連結業績予想



■ 連結損益計算書(通期業績予想は期初予想から変更ありません)

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		前期対比	
	実績(A)	売上比	計画(B)	売上比	(B)-(A)	%
売上高	38,287	100.0%	56,760	100.0%	18,472	148.2%
売上原価	20,636	53.9%	35,104	61.8%	14,467	170.1%
売上総利益	17,650	46.1%	21,656	38.2%	4,005	122.7%
販売費及び一般管理費	13,440	35.1%	17,006	30.0%	3,565	126.5%
営業利益	4,209	11.0%	4,650	8.2%	440	110.5%
経常利益	4,371	11.4%	4,821	8.5%	449	110.3%
当期純利益	2,290	6.0%	2,606	4.6%	315	113.8%
1株当たり当期純利益(円)	109.96	-	126.65	-	-	-

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		前期対比	
	実績(A)	売上比	計画(B)	売上比	(B)-(A)	%
販売費及び一般管理費	13,440	35.1%	17,006	30.0%	3,565	126.5%
人件費	5,957	15.6%	7,544	13.3%	1,587	126.7%
広告宣伝費関連	3,266	8.5%	3,128	5.5%	△ 138	95.8%
その他経費	4,216	11.0%	6,332	11.2%	2,115	150.2%
社員数	1,103	-	1,405	-	302	127.4%

* 業績見通しは、2013年5月10日公表の数値であります。

セグメント別業績予想



■ 売上高(通期業績予想は期初予想から変更ありません)

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		前期対比	
	実績(A)	構成比	計画(B)	構成比	(B)-(A)	%
自動車関連情報	33,687	88.0%	50,685	89.3%	16,997	150.5%
情報登録・掲載料	20,413	53.3%	20,918	36.9%	504	102.5%
情報提供料	13,273	34.7%	29,767	52.4%	16,493	224.3%
生活関連情報	3,837	10.0%	4,922	8.7%	1,085	128.3%
不動産	163	0.4%	139	0.2%	△ 24	84.9%
その他	597	1.6%	1,012	1.8%	414	169.4%
合計	38,287	100.0%	56,760	100.0%	18,472	148.2%

※ 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載料等
 ※ 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供、中古車輸出支援サービス、EC等

■ 営業利益(通期業績予想は期初予想から変更ありません)

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		前期対比	
	実績(A)	利益率	計画(B)	利益率	(B)-(A)	%
自動車関連情報	5,916	17.6%	6,184	12.2%	268	104.5%
生活関連情報	131	3.4%	327	6.7%	196	249.9%
不動産	85	52.2%	78	56.3%	△ 7	91.6%
その他	△ 323	-	△ 95	-	227	-
管理部門	△ 1,599	-	△ 1,844	-	△ 244	-
合計	4,209	11.0%	4,650	8.2%	440	110.5%

* 業績見通しは、2013年5月10日公表の数値であります。

参考:EBITDA・調整後当期純利益推移



(単位:百万円)

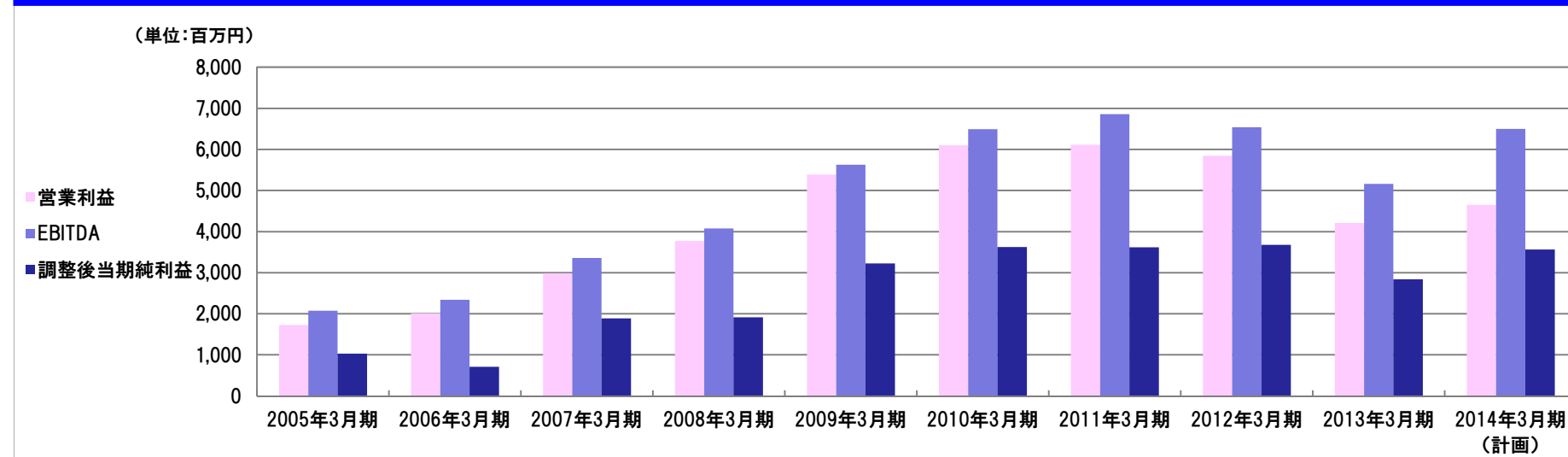
	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期 (計画)*3
売上高	19,778	19,952	21,238	22,893	23,657	25,682	28,779	30,582	38,287	56,760
営業利益	1,725	2,010	2,988	3,771	5,384	6,098	6,111	5,846	4,209	4,650
当期純利益	917	598	1,766	1,838	3,187	3,529	3,197	3,275	2,290	2,606
EBITDA*1	2,075	2,337	3,360	4,078	5,628	6,490	6,856	6,540	5,161	6,499
調整後当期純利益*2	1,030	707	1,890	1,915	3,223	3,621	3,620	3,680	2,836	3,563
減価償却費	237	217	247	230	207	299	322	288	404	891
のれん償却額	112	109	124	77	36	91	422	405	546	957

*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

*3 2014年3月期の業績予想は期初予想から変更ありません。

営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



* 業績見通しは、2013年5月10日公表の数値であります。

補足資料

会社概要



社名	株式会社プロトコーポレーション																																											
創業	1977年10月1日																																											
設立	1979年6月1日																																											
資本金	1,824,620,000円（2013年9月30日現在）																																											
発行済株式総数	20,940,000株（2013年9月30日現在）																																											
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目22番2号	月刊中古車通信 1977年創刊 																																										
支社	札幌、仙台、高崎、東京、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本 （全国58拠点）																																											
事業年度末	3月31日																																											
社員数	連結：1,304名（2013年9月30日現在） 単体：727名（2013年9月30日現在）																																											
上場取引所	東京証券取引所JASDAQスタンダード（2001年9月12日 上場）																																											
連結子会社	<table border="0"> <tr> <td>1.株式会社プロトリオス</td><td>【2002年10月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>2.株式会社プロトデータセンター</td><td>【2007年 4月設立】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>3.株式会社プロトメディカルケア</td><td>【2009年10月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>4.株式会社バイクプロス</td><td>【2010年 4月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>5.株式会社カークレド</td><td>【2012年 2月設立】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>6.株式会社キングスオート</td><td>【2012年 4月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>7.株式会社オートウェイ</td><td>【2013年 4月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>8.株式会社フジヤマサービス</td><td>【2013年 4月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：間接 100%）</td></tr> <tr> <td>9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.</td><td>【2011年 9月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>10.MTM Interactive Sdn. Bhd. ※清算手続き中</td><td>【2011年 9月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：間接 100%）</td></tr> <tr> <td>11.SMT Media Pte. Ltd.</td><td>【2011年 9月子会社化】</td><td>（議決権所有割合：間接 100%）</td></tr> <tr> <td>12.台湾寶路多股份有限公司</td><td>【2011年12月設立】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>13.PROTO SINGAPORE Pte. Ltd. ※清算手続き中</td><td>【2012年 5月設立】</td><td>（議決権所有割合：直接 100%）</td></tr> <tr> <td>14.PT. PROTO INDONESIA （2013年10月1日現在）</td><td>【2012年12月設立】</td><td>（議決権所有割合：直接 75.0%、間接 25.0%）</td></tr> </table>		1.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）	2.株式会社プロトデータセンター	【2007年 4月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）	3.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）	4.株式会社バイクプロス	【2010年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）	5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）	6.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）	7.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）	8.株式会社フジヤマサービス	【2013年 4月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）	9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）	10.MTM Interactive Sdn. Bhd. ※清算手続き中	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）	11.SMT Media Pte. Ltd.	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）	12.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）	13.PROTO SINGAPORE Pte. Ltd. ※清算手続き中	【2012年 5月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）	14.PT. PROTO INDONESIA （2013年10月1日現在）	【2012年12月設立】	（議決権所有割合：直接 75.0%、間接 25.0%）
1.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
2.株式会社プロトデータセンター	【2007年 4月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
3.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
4.株式会社バイクプロス	【2010年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
6.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
7.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
8.株式会社フジヤマサービス	【2013年 4月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）																																										
9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
10.MTM Interactive Sdn. Bhd. ※清算手続き中	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）																																										
11.SMT Media Pte. Ltd.	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）																																										
12.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
13.PROTO SINGAPORE Pte. Ltd. ※清算手続き中	【2012年 5月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）																																										
14.PT. PROTO INDONESIA （2013年10月1日現在）	【2012年12月設立】	（議決権所有割合：直接 75.0%、間接 25.0%）																																										

中古車の流通フローと当社グループの主な商品・サービス



■ 中古車流通の上流から下流までを網羅し、ニーズに即した商品・サービスの開発・提供を推進

事業領域①

売りたい人



買取
70万台

下取り
210万台

下取り
40万台

リース会社
(リースアップ車両)

中古車買取専門店

新車ディーラー

出品
50万台

出品
60万台

出品
130万台

事業領域②

中古車オークション会場、入札会

出品
20万台

仕入
115万台

事業領域③

中古車販売店

輸出用
落札
85万台

輸出
5万台

小売
10万台

小売
130万台

小売
90万台

海外市場

買いたい人
(海外)



買いたい人
(国内)



事業領域①

Data Line PRO、自動車メーカー向け基本価格データ
オークション落札価格・小売価格などの相場データを提供

Data Line 査定、e-satei

法人向けに中古車査定価格算出システムを提供

事業領域②

Goo-net 自動車流通、自動車流通新聞

自動車関連事業者向けに流通市場の動向をweb・紙面にて提供

事業領域③

Gooシリーズ(PC/モバイル/情報誌)

欲しいクルマを検索・見積り

SA(Goo-netバックグラウンドシステム)、QE、GCS

在庫管理、顧客管理ツール等を提供

Goo鑑定

第三者機関が鑑定した車両状態を開示

Goo-net Exchange

販売店の中古車輸出をサポート

※(株)矢野経済研究所『中古車流通総覧 2012年版』を基に作成(2011年における中古車流通フロー)
※業販市場と中古車販売店の仕入販売台数は在庫入替用の仕入販売台数を除く。 ※解体市場データ除く。

情報登録・掲載料 (1)

課金体系: 1ページ当たりの広告掲載料

* 基本広告掲載料 (情報誌・PC・モバイルのセット販売)

情報提供料

情報誌の販売

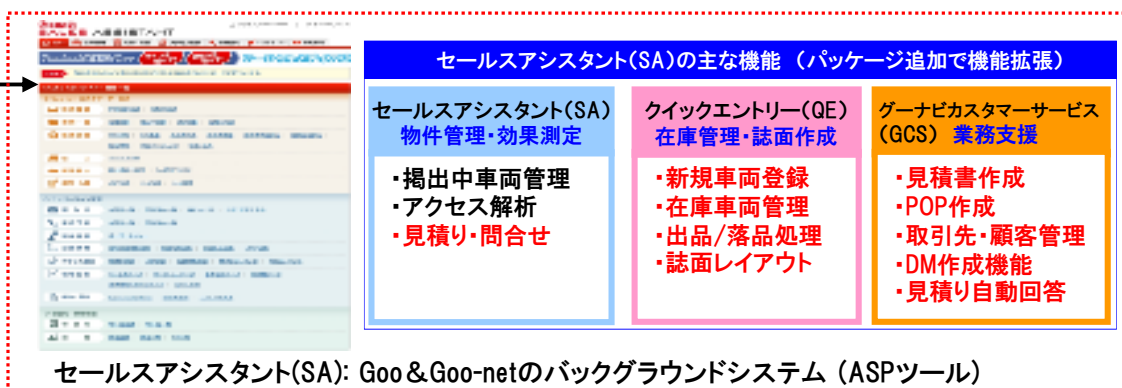
モバイル課金



例) Goo首都圏版

ページ単価: 約7.8万円 ∴ 月2回広告掲載した場合(1P×2回)の基本広告掲載料: 約15万円

※平均顧客単価/月: 約23万円(2013年3月期実績)



情報登録・掲載料 (2)

Goo-netのインターネットオプション (HNP見積仲介サービス、QE、GCS等)

* 赤文字: 有料商品(サービス)

■ ユーザーからの安心・信頼を高めるサービスを拡充し、競合との差別化を図る

Goo鑑定(鑑定書付き車両)



車両状態情報の開示

Goo鑑定の概要と図解(一例)



Goo鑑定3つのポイント

Goo鑑定のポイント ①

第三者の鑑定師がチェック!

第三者の鑑定師がチェック! 第三者の鑑定師がチェック! 第三者の鑑定師がチェック!

公正!

Goo鑑定のポイント ②

最大344項目のチェック

最大344項目のチェック! 最大344項目のチェック! 最大344項目のチェック!

納得!

Goo鑑定のポイント ③

鑑定書付き

鑑定書付き! 鑑定書付き! 鑑定書付き!

分かりやすい!



ステップ ① Goo鑑定車一覧ページ



ここに注目!



一覧ページで、Goo鑑定付きの車両には、Goo鑑定車の表示がつけられています。

ステップ ② Goo鑑定車詳細ページ



ここに注目!

詳細ページからはGoo鑑定書(サンプル)を見ることができます。

ステップ ③ Goo鑑定書ページ



Goo鑑定の拡販により、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びが出来る環境を整備する

参考: 四半期連結業績推移



(単位: 百万円)

	2012年3月期 (実績)					2013年3月期 (実績)					2014年3月期 (実績)	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q
売上高	7,223	7,501	7,975	7,880	30,582	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915
売上原価	3,010	3,270	3,500	3,502	13,283	5,007	5,093	5,029	5,505	20,636	8,459	8,717
売上総利益	4,213	4,230	4,475	4,378	17,298	4,591	4,507	4,390	4,161	17,650	5,349	5,198
販売費及び一般管理費	2,810	2,758	2,770	3,112	11,451	3,006	3,124	3,171	4,138	13,440	4,022	4,068
営業利益	1,403	1,472	1,705	1,265	5,846	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130
経常利益	1,437	1,458	1,739	1,367	6,002	1,602	1,450	1,263	54	4,371	1,398	1,213
四半期(当期)純利益	827	815	945	687	3,275	1,082	657	670	△ 120	2,290	761	551

※ 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

	2012年3月期 (実績)					2013年3月期 (実績)					2014年3月期 (実績)	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q
売上高	7,223	7,501	7,975	7,880	30,582	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915
自動車関連情報	6,492	6,506	6,852	6,852	26,704	8,538	8,256	8,214	8,677	33,687	12,723	12,680
情報登録・掲載料	4,756	4,826	5,166	5,082	19,830	4,934	5,082	5,324	5,072	20,413	5,038	5,192
情報提供料	1,736	1,680	1,686	1,770	6,873	3,604	3,174	2,890	3,605	13,273	7,685	7,488
生活関連情報	640	907	1,010	911	3,470	925	1,175	980	755	3,837	828	942
不動産	41	41	42	41	166	42	40	41	39	163	41	43
その他	49	45	70	75	240	91	127	183	195	597	215	248
営業利益	1,403	1,472	1,705	1,265	5,846	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130
自動車関連情報	1,820	1,823	2,045	1,583	7,272	1,932	1,787	1,719	476	5,916	1,752	1,473
生活関連情報	27	40	73	86	228	52	58	32	△ 12	131	37	81
不動産	20	19	21	22	83	24	21	23	16	85	23	22
その他	△ 38	△ 48	△ 34	△ 27	△ 149	△ 55	△ 73	△ 121	△ 73	△ 323	△ 58	△ 40
管理部門	△ 427	△ 362	△ 400	△ 399	△ 1,589	△ 369	△ 411	△ 435	△ 383	△ 1,599	△ 428	△ 407

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。
これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご了承ください。

■ お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション
名古屋市中区葵一丁目23番14号
TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750
<http://www.proto-g.co.jp/>
4298ir@proto-g.co.jp
IR担当／経営企画室 鈴木